

鹿児島工業高等専門学校学則

- 第1章 本校の目的
- 第2章 自己評価等
- 第3章 修業年限、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻
- 第4章 学科、学級数、入学定員及び教職員組織
- 第5章 教育課程
- 第6章 入学、転学科、休学、退学、転学及び留学
- 第7章 課程修了の認定等
- 第8章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料
- 第9章 学生準則、賞罰及び除籍
- 第10章 専攻科
- 第11章 学寮
- 第12章 公開講座
- 第13章 外国人留学生
- 第14章 研究生、聴講生及び科目等履修生
- 附 則

第1章 本校の目的

(目的)

- 第1条 本校は、教育基本法 の精神にのっとり、及び学校教育法 に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養成することを目的とする。
- 2 本校における人材の養成に関する目的その他の教育上の目的は、別に定める。

第2章 自己評価等

(自己評価等)

- 第2条 本校の教育水準の向上を図り、かつ本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。
- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。
- 3 本校は、第1項の点検及び評価の結果について、本校の職員以外の者により検証を努めるものとする。

第3章 修業年限、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

(修業年限及び在学年限)

- 第3条 修業年限は、5年とする。
- 2 学生は、10年を超えて在学することはできない。

(学年)

- 第4条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

- 第5条 学年を分けて、次の2学期とする。
- 前学期 4月1日から9月30日まで
- 後学期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、特別の必要がある場合には、校長は、学期の開始日及び終了日を変更することができる。

(休業日)

第6条 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長は、これらの休業日を授業日に振り替えることがある。

- (1) 国民の休日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (2) 日曜日及び土曜日
 - (3) 開校記念日（4月20日）
 - (4) 春季休業、夏季休業、冬季休業及び学年末休業期間は別に定める。
 - (5) 臨時休業 校長がその都度定める。
- 2 春季休業、夏季休業、冬季休業及び学年末休業の期間は、学校の事情により、校長の承認を得て変更することができる。

(授業開始の時刻)

第7条 授業開始の時刻は、校長が別に定める。

第4章 学科及び教職員組織

(学科、入学定員及び収容定員)

第8条 本校に次の学科、類及びコースを置き、学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 科	類	コース	学級数	入学定員	収容定員
創造デザイン 工学科	Ⅰ 類	コンピュータサイエンス コース	5	200人	1、000人
		データサイエンスコース			
	Ⅱ 類	知能ロボティクスコース			
		先進エレクトロニクス コース			
	Ⅲ類	都市環境デザインコース			

(職員の種類)

第9条 本校に、校長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。

- 2 職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるところによる。

(教務主事、学生主事及び寮務主事)

第10条 本校に教務主事、学生主事及び寮務主事を置く。

- 2 教務主事は、校長の命を受け、教育計画の立案その他教務に関することを掌理する。
- 3 学生主事は、校長の命を受け、学生の厚生補導に関すること（寮務主事の所掌に属するものを除く。）を掌理する。
- 4 寮務主事は、校長の命を受け、学寮における学生の厚生補導に関することを掌理する。

(事務部及び技術室)

第11条 本校に事務部を置き、事務部に総務課及び学生課を置く。

2 本校に技術室を置く。

(内部組織)

第12条 前2条に規定するもののほか、本校の内部組織は、別に定めるところによる。

第5章 教育課程

(授業を行う期間)

第13条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(教育課程)

第14条 教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。

- 2 授業科目及びその単位数は、一般科目にあつては別表第1、専門科目にあつては別表第2のとおりとする。
- 3 各授業科目の単位数は、30単位時間の履修を1単位として計算するものとする。
- 4 前項の規定にかかわらず、本校が定める授業科目については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算することができる。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 5 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計数は、60単位を超えないものとする。
- 6 前3項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位の修得を認定することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 7 特別活動は、第1学年から第3学年まで各学年30単位時間以上実施する。

(授業の方法)

- 第14条の2 校長は、文部科学大臣が別に定めるところにより、授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 2 校長は、授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
 - 3 卒業の要件として修得すべき単位数のうち、前2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

第6章 入学、転類、休学、退学、転学及び留学

(入学資格)

第15条 入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校を卒業した者
- (2) 義務教育学校を卒業した者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者

- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（入学者の選抜及び入学許可）

第16条 校長は、入学志願者について、学力検査の成績、出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行う。

- 2 校長は、前項の選抜方法によるほか、入学定員の一部について出身学校の長の推薦に基づき学力検査を免除し、送付された調査書等を資料として入学者の選抜を行うことができる。
- 3 校長は、前2項の選抜方法によるほか、入学定員の一部について学力検査を免除し、レポートその他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行うことができる。
- 4 校長は、前各項の選抜の結果に基づき第35条に規定する入学料を納付した者に対して入学を許可する。ただし、入学料の免除又は徴収猶予の申請を受理された者にあつてはこの限りでない。

（編入学）

第17条 第1学年の途中又は第2学年以上に入学を希望する者があるときは、校長は、その者が相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認めた場合に限り、前条の規定に準じて、相当学年に入学を許可することがある。

（転入学）

第18条 他の高等専門学校から転入学を希望する者があるときは、校長は、教育上支障のない場合には、転入学を許可することがある。

- 2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

（入学手続）

第19条 入学を許可された者は、所定の期日までに保護者等と連署した誓約書及び校長が定めた書類を提出しなければならない。

- 2 前項の手続を終了しない者があるときは、校長は、その入学の許可を取り消すことがある。

（転類）

第20条 転類を希望する者があるときは、校長は、選考の上第2学年までに限り、転類を許可することがある。

- 2 転類の時期は学年の始めとする。

（休学）

第21条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により、3ヶ月以上継続して就学することができないときは、校長の許可を受けて、休学することができる。

(休学の期間)

第22条 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別な事情等やむを得ない場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

(復学)

第23条 休学した者は、休学の事由がなくなったときには、校長の許可を受けて、復学することができる。

(出席停止)

第24条 学生に伝染病その他の疾病があるときは、校長は、出席停止を命ずることがある。

(退学)

第25条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により退学しようとするときは、校長の許可を受けて、退学することができる。

2 前項の規定により退学した者で、再入学を希望する者があるときには、校長は、選考の上相当学年に入学を許可することがある。

(他の学校への入学等)

第26条 他の学校に入学、転学又は編入学を志望しようとする者は、予め、校長の許可を受けなければならない。

(留学)

第27条 校長は教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 校長は、前項の規定により留学を許可された学生について、外国の高等学校又は大学における履修を本校における履修とみなし、60単位を超えない範囲で単位の修得を認定することができる。

3 校長は、前項の規定により単位の修得を認定された学生について、学年の途中においても、各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

4 前3項に関し必要な事項は、別に定める。

第7章 課程修了の認定等

(全課程の修了に必要な単位数)

第28条 全課程の修了の認定に必要な単位数は、167単位以上（そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする。）とする。

(学年の課程の修了又は卒業の認定)

第29条 各学年の課程の修了又は卒業を認めるに当たっては、学生の平素の成績を評価して行うものとする。

(再履修)

第30条 前条の認定の結果、原学年にとどめられた者の再履修については、別に定める。

(他の高等専門学校における授業科目の履修)

第31条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が本校の定めるところにより他の高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項により修得したものとみなすことができる単位数は、第27条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前2項に関し必要な事項は、別に定める。

(高等専門学校以外の教育施設等における学修等)

第32条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし、本校の定めるところにより単位の修得を認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位数は、第27条及び前条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の規定は、学生が、外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。この場合において認定することができる単位数は、第27条、第31条及び前項により本校において修得したものとみなし、又は認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 前3項に関し必要な事項は、別に定める。

(卒業及び称号)

第33条 全学年の課程を修了した者には、校長は所定の卒業証書を授与する。

- 2 卒業した者は、準学士（工学）と称することができる。

第8章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料)

第34条 入学、転学、編入学又は再入学を志望する者は願書提出と同時に、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則（以下この章において「規則」という。）に定める検定料を納付しなければならない。

(入学料)

第35条 入学料の額は、規則に定める額とし、入学を許可するときに徴収するものとする。

(授業料)

第36条 学生は、規則に定める授業料を前学期及び後学期の2期に区分して納付するものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。

- 2 前項の授業料は、前学期にあつては5月までに、後学期にあつては10月までに納付するものとする。
- 3 収納方法は、原則口座振替とする。ただし、特別な事情等やむを得ない場合は、この限りではない。
- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、学生から申出があつたときは、前学期に係る授業料を納付するときに、当該年度の後学期に係る授業料を併せて納付することができる。
- 5 入学年度の前学期又は前学期及び後学期の授業料については、第1項、第2項及び第3項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があつたときは、入学を許可されたときに納付することができる。

(学年の途中で入学、復学、転学、編入学又は再入学した者の授業料)

第37条 学年の中途において入学した者が、前学期又は後学期において納付する授業料の額は、授業料の12分の1に相当する額(その額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。)に入学の日の属する月から次の納付の時期前までの月数を乗じて得た額とし、入学の日の属する月に納付するものとする。

- 2 学年の中途において復学、転学、編入学又は再入学(以下「復学等」という。)した者が、前学期又は後学期において納付する授業料の額は、授業料の12分の1に相当する額(その額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。)に復学等の日の属する月から次の納付の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等の日の属する月に納付するものとする。

(学年の途中で退学する者の授業料)

第38条 学年の途中で退学する者は、退学する月の属する時期が前学期であるときは、授業料の2分の1に相当する額の授業料を、退学する日の属する月が後学期であるときは、授業料の年額に相当する額の授業料をそれぞれ納付するものとする。

(寄宿料の額及び収納、徴収方法)

第39条 寄宿舎に入舎している学生は、入舎した日の属する月から退舎した日の属する月までの間、規則に定める寄宿料を納付するものとする。

- 2 寄宿料は、寄宿舎に入舎した日の属する月から退舎する日の属する月まで毎月当月分を月末までに納付するものとする(当該日が金融機関休業日の場合は前営業日とする。)。ただし、3月分については2月26日までに納付するものとする(当該日が金融機関休業日の場合は前営業日とする。))。
- 3 収納方法は、原則口座振替とする。ただし、特別な事情等やむを得ない場合は、この限りではない。
- 4 前2項の規定にかかわらず、学生から申出又は承諾があったときは、前学期にあつては4月30日までに、後学期にあつては10月31日までに徴収することができるものとする(当該日が金融機関休業日の場合は前営業日とする。))。

(入学料、授業料及び寄宿料の免除若しくは徴収猶予)

第40条 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。))が死亡し、又は、入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合その他やむを得ない事由により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を免除することがある。また、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、その徴収を猶予することがある。

- 2 経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、又は休学、死亡その他やむを得ない事情があると認められる場合には、授業料の全額若しくは一部を免除し、又その徴収を猶予することがある。
- 3 風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が困難であると認められる場合には、災害当月の翌月から起算して6ヶ月の範囲内において納付すべき寄宿料の全部を免除することがある。
- 4 前3項に関し必要な事項は別に定める。

(検定料等の返還)

第41条 納付済みの検定料、入学料、授業料及び寄宿料は返還しない。ただし、次の各号に該当する場合には、当該各号に掲げる額を返還する。

- (1) 第36条第3項又は4項の規定により、前学期に係る授業料を徴収するときに、後期に係る授業料を併せて納付した者が、後学期に係る授業料の納付時期前に休学又は退学した場合において、納付した者の申出があったとき 後学期に係る授業料に相当する額
- (2) 第36条第4項の規定により、入学を許可するときに授業料を納付した者が、3月31日までに入学を辞退した場合において、納付した者の申出があったとき 当該授業料に相当する額
- (3) 第39条の規定により、寄宿料を納付した者が、途中で退舎した場合において、納付した者の申出があったとき 退舎月の翌月から起算して前納した寄宿料に相当する額

第9章 学生準則、賞罰及び除籍

(学生準則)

第42条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

(表彰)

第43条 学生として表彰に値する行為があるときは、表彰することがある。

(懲戒)

第44条 教育上必要があるときは、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。懲戒の基準については別に定める。ただし、退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行うものとする。

- (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

(除籍)

第45条 次の各号の一に該当する者は、校長がこれを除籍する。

- (1) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者
- (2) 第22条に規定する休学期間を超えてなお復学できない者
- (3) 授業料、寄宿料を納付しない者
- (4) 第16条第3項に規定する入学料免除又は徴収猶予の申請書を受理された者で、次に掲げる者
 - ア 免除又は徴収猶予を不許可とされた者及び半額免除の許可をされた者で、免除又は徴収猶予の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しない者
 - イ 徴収猶予が許可された者で、入学料を所定の期日までに納付しない者

第10章 専攻科

(目的)

第46条 専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関

する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

- 2 専攻科の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育上の目的は、別に定める。

(専攻、入学定員及び収容定員)

第47条 専攻科の専攻、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

専 攻	入 学 定 員	収 容 定 員
機械・電子システム工学専攻	8人	16人
電気情報システム工学専攻	8人	16人
建設工学専攻	4人	8人

(連携教育プログラム)

第47条の2 大学と連携して、それぞれ強みを持つ教育資源を有効に活用しつつ、教育内容の高度化を図ることを目的に連携教育プログラムを実施する。

- 2 専攻科に次の表に掲げる連携教育プログラムを設ける。

専 攻	プログラムの名称	連携大学
機械・電子システム工学専攻	九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム	九州大学
電気情報システム工学専攻	九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム	九州大学
建設工学専攻	先進テクノロジー実践連携教育プログラム	長岡技術科学大学

- 3 前項の連携教育プログラムは、当該連携教育プログラムが置かれる専攻の入学定員の範囲内で実施する。

(修業年限及び在学年限)

第48条 専攻科の修業年限は、2年とする。

- 2 専攻科の学生は、4年を超えて在学することはできない。

(入学資格)

第49条 専攻科に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学者の選抜及び入学許可)

第50条 校長は、専攻科の入学志願者について、別に定めるところにより選抜の上、入学を許可する。

(教育課程)

第51条 専攻科の授業科目及び単位数は、別表第3のとおりとする。ただし、第47条の2第2項の連携教育プログラムの授業科目及び単位数は、別表第4のとおりとする。

(休学の期間)

第52条 専攻科学生の休学の期間は、通算して2年を越えることができない。

2 休学の期間は、第48条に定める修業年限及び在学期間に算入しない。

(修了)

第53条 専攻科に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し、62単位以上を修得した者について、修了を認定する。

2 校長は、修了を認定した者に対し、所定の修了証書を授与する。

3 第1項に規定する単位の修得方法については、別に定める。

(準用規定)

第54条 専攻科学生については、第4条から第7条まで、第13条、第14条の2、第19条、第21条、第23条から第27条まで、第32条、第34条から第45条までの規定を準用する。この場合において、第14条の2第3項中「60単位」とあるのは、「30単位」、第27条第1項及び第2項中「外国の高等学校または大学」とあるのは「外国の大学」、第45条の第2号中「第22条」とあるのは「第52条」とそれぞれ読み替えるものとする。

(その他)

第55条 本章に定めるもののほか、専攻科に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 学寮

(学寮)

第56条 本校に学寮を設ける。

2 学生は学寮に入寮することができる。

3 学寮の運営その他必要な事項は、別に定める。

第12章 公開講座

(公開講座)

第57条 本校に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第13章 外国人留学生

(外国人留学生)

第58条 外国人で、本校に留学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として

入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生については、別に定めるもののほか、この学則を準用する。

第14章 研究生、聴講生及び科目等履修生

(研究生)

第59条 本校において、特定の専門事項について研究を志願する者があるときは、本校の教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講生及び特別聴講学生)

第60条 本校において開設する授業科目の聴講を志願する者があるときは、本校の教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 大学間相互単位互換協定等に基づいて、本校が開設する授業科目のうち 特定の科目について聴講を志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、特別聴講学生として入学を許可することがある。
- 3 聴講生及び特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第61条 本校において開設する授業科目の履修を志願する者があるときは、本校の教育研究に支障がない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和41年4月1日から施行する。
- 2 昭和41年度の入学、転学、編入学又は再入学に係る検定料の額は、第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和47年4月1日から施行する。
- 2 昭和47年3月31日以前に入学した者の授業料の額は、第29条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和47年4月1日以後に、転学、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、その者

の属する年次の在学者にかかる額と同額とする。

- 4 昭和47年度に入学した者に係る授業料の額は、第29条の額にかかわらず、昭和47年度に限り年額14,400円とし、前期にあつては、4,800円、後期にあつては、9,600円を納付するものとする。
- 5 昭和47年度の学年の中途において入学した者が、前期又は後期において納付する授業料の額は、第30条の規定にかかわらず、昭和47年度に限り、前第4号に定める当該前期又は後期において、納付する額の6分の1に相当する額に、入学の日の属する月から、次の納付の時期の前月までの月数を乗じて得た数とする。
- 6 昭和47年度に入学した者が、学年の途中で退学する場合は、第31条の規定にかかわらず、昭和47年度に限り、退学する日の属する時期が、前期であるときは、4,800円、退学する日の属する時期が、後期であるときは、9,600円の授業料を、それぞれ納付するものとする。
- 7 昭和47年度に入学を許可された者に係る入学料の額は、第28条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 8 昭和47年度の入学を志願する者に係る入学検定料は、第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和51年4月1日から施行する。
- 2 昭和51年3月31日以前に入学した者の授業料の額は、第29条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和51年4月1日以後に転学、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、その者の属する年次の在学者にかかる額と同額とする。
- 4 昭和51年度に入学した者に係る授業料の額は、第29条の額にかかわらず、昭和51年度に限り年額31,200円とし、前期にあつては、9,600円、後期にあつては、21,600円を納付するものとする。
- 5 昭和51年度の学年の中途において入学した者が、前期又は後期において納付する授業料の額は、第30条の規定にかかわらず、昭和51年度に限り、前第4号に定める当該前期又は後期において、納付する額の6分の1に相当する額に、入学の日の属する月から、次の納付の時期の前月までの月数を乗じて得た数とする。
- 6 昭和51年度に入学した者が、学年の途中で退学する場合は、第31条の規定にかかわらず、昭和51年度に限り、退学する日の属する時期が前期であるときは、9,600円、退学する日の属する時期が後期であるときは21,600円の授業料をそれぞれ納付するものとする。

附 則

- 1 この学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 2 昭和52年度の入学を志願する者に係る入学検定料の額は、第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和52年度に入学を許可された者に係る入学料の額は、第28条の規定にかかわらず、な

お従前の例による。

- 4 昭和52年度の第2学年以上に係る教育課程については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和53年4月1日から施行する。
- 2 昭和53年4月1日以後に転学、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、その者の属する年次の在学者にかかる額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、昭和54年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年度の入学を志願する者に係る入学検定料の額は、第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 昭和55年3月31日以前に入学した者の授業料の額は、第29条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 昭和55年4月1日以後に転学、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、その者の属する年次の在学者にかかる額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 昭和56年度の入学を志願する者に係る入学検定料の額は、第27条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和57年4月1日から施行し、第17条第2項の改正規定は、昭和56年1月10日から適用する。

附 則

この学則は、昭和58年12月14日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和61年5月30日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。
- 2 この学則の適用の際、在学する第2学年、第3学年、第4学年及び第5学年の学生に係る教育課程については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和62年2月10日から施行する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年2月15日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 機械工学科の2学級については、改正後の第7条の規定にかかわらず、平成3年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 この学則の施行の際、存続する機械工学科の第2学年から第5学年までの学生に係る教育課程については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成4年2月21日から施行し、平成4年4月1日から適用する。
- 2 改正前の教育課程から改正後の教育課程に移行するための特別の措置は別に定める。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 平成8年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び平成8年4月1日以後において、在学者の所属する年次に編入学、転入学又は再入学する者に係る第14条第2項の別表第1並びに第2については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成9年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び平成9年4月1日以降において、在学者の所属する年次に編入学、転入学又は再入学する者に係る第14条第2項の別表第1並びに第2については、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年1月6日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年5月18日から施行し、平成13年3月30日から適用する。

附 則

この学則は、平成13年7月13日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年2月24日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 電気工学科については、改正後の第8条の規定にかかわらず、平成15年3月31日以前に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 この学則の施行の際、在学する電気工学科の第2学年から第5学年までの学生に係る教育課程については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年6月18日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年11月19日から施行し、改正後の鹿児島工業高等専門学校学則の規定は平成16年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、第45条の規定は、平成19年3月6日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年10月17日から施行し、平成20年10月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 土木工学科は、改正後の第8条の規定にかかわらず、平成22年3月31日に土木工学科に在学する者が土木工学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 平成21年度以前に土木工学科に入学した者に係る教育課程については、なお従前の例による。
- 4 平成21年度以前に土木工学科に入学した者が、休学等の事由により原学年にとどめられた場合で、その者が都市環境デザイン工学科へ転学科を希望するときは、第20条の規定にかかわらず、校長は、都市環境デザイン工学科の第4学年又は第5学年へ転学科を許可することがある。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月15日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成23年6月24日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年12月21日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日において現に在学する者（以下この項目において「在学者」という。）及び平成26年4月1日以降において、在学者の属する年次に編入学及び転入学する者は改正後の第31条及び32条の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成26年5月26日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 土木工学専攻は、改正後の第47条の規定にかかわらず、平成27年3月31日に在学する者が土木工学専攻に在学するまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年7月8日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則
この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、令和3年3月10日から施行する。

附 則
この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則
この学則は、令和3年7月7日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年6月4日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和7年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年2月4日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、情報工学科及び都市環境デザイン工学科は、改正後の第8条の規定にかかわらず、令和8年3月31日に本校に在学する者及び令和8年4月1日以後において、在学者の所属する年次に編入学、転入学又は再入学する者（以下この附則において「前学科教育課程適用学生」という。）が本校に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 前学科教育課程適用学生の教育課程の編成、授業科目、年次配当及び単位数については、改正後の規定に関わらず、なお、従前の例による。
- 4 令和7年度以前に入学した者が、休学等の事由により原学年にとどめられた場合で、その者が創造デザイン工学科へ転学科を希望するときは、第20条の転類を転学科と読み替えることとし、校長は創造デザイン工学科への転学科を許可することがある。
- 5 令和7年度以前に入学した者が創造デザイン工学科以外の学科に転学科を希望する場合は、第20条の規定はなお従前の例による。

附 則

この学則は、令和8年7月15日から施行し、令和8年4月1日から適用する。

別表第 1

教 育 課 程 表

1-1-1 教育課程 (令和 8 年度以降入学生適用) 一般科目

* : 講義 I
** : 講義 II

授業科目			単位数	学年別配当単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	人文・社会科学等	国語Ⅰ	2	2					留学生受講免除科目
		国語Ⅱ	2		2				
		国語Ⅲ	2			2**			
		日本語表現	2				2**		
		倫理	1	1					
		地理	1	1					留学生受講免除科目
		歴史	2		2				
		政治・経済	2			2			
		哲学	2				2**		
		技術倫理総論	2					2**	
	リベラルアーツ	1			1				
	数学基礎Ⅰ	2	2						
	数学基礎Ⅱ	2	2						
	数学基礎Ⅲ	2	2						
	微分積分Ⅰ	2		2					
	微分積分Ⅱ	2		2					
	線形代数Ⅰ	2		2					
	線形代数Ⅱ	1			1				
	解析Ⅰ	2			2				
	解析Ⅱ	2			2				
	確率・統計	1			1				
	物理Ⅰ	2	2						
	物理Ⅱ	3		3					
	化学Ⅰ	2	2						
	化学Ⅱ	1		1					
	総合理科	2				2**			
	保健体育	保健体育Ⅰ	2	2					
		保健体育Ⅱ	2		2				
		保健体育Ⅲ	2			2			
		スポーツⅠ	1				1		
		スポーツⅡ	1					1	
	芸術	美術	1	1					2科目中1科目選択可能
		音楽	1	1					
	英語	英語Ⅰ	4	4					
		英語Ⅱ	4		4				
		英語Ⅲ	4			4			
		英語Ⅳ	2				2**		
		英語論理・表現Ⅰ	2	2					
		英語論理・表現Ⅱ	1			1			
		英語Ⅴ	2					2*	
		留学生科目	日本語Ⅰ	1			1		
	日本語Ⅱ		1			1			
	日本語・日本事情Ⅰ		2			2			
	日本語・日本事情Ⅱ		2				2		
	小計		76	24	20	18	9	5	留学生補充科目の単位数は含まない
選択科目	学・人文・体育・社会科 英語	社会概説	2					2**	
		スポーツⅢ	1					1	
		英語論理・表現Ⅲ	1				1		
		特別学修A							単位数は別途定める。
		特別学修C							
	留学生科目	日本語Ⅲ	1				1		留学生に対して開講する
		留学生数学	2			2			
		留学生物理	1			1			
	小計		4	0	0	0	1	3	留学生補充科目の単位数は含まない
合計	開講単位数		80	24	20	18	10	8	留学生補充科目の単位数は含まない
	履修可能単位数		79	23	20	18	10	8	留学生補充科目の単位数は含まない

別表第1

教 育 課 程 表

2-1-1 令和8年度 教育課程 (令和4年度～令和7年度入学生適用) 一般科目

* : 講義Ⅰ
** : 講義Ⅱ

授業科目			単位数	学年別配当単位数					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
A 群	人文・社会科学等	現代の国語	1	1					留学生受講免除科目	
		言語文化	1	1						
		国語表現	1		1					
		古典探求	1		1					
		論理国語	1			1				
		文学国語	1			1				
		日本語表現Ⅰ	1				1*			
		日本語表現Ⅱ	1				1*			
		歴史Ⅰ	1	1						
		歴史Ⅱ	1	1						
		倫理Ⅰ	1		1					
		倫理Ⅱ	1		1					
		政治・経済Ⅰ	1			1				留学生受講免除科目
		政治・経済Ⅱ	1			1				
	技術倫理総論	2					2**			
	知的財産権概論	2					2**			
	リベラルアーツⅠ	1		1						
	リベラルアーツⅡ	1			1					
	数学基礎AⅠ	2	2							
	数学基礎AⅡ	2	2							
	数学基礎BⅠ	1	1							
	数学基礎BⅡ	1	1							
	微分積分Ⅰ	2		2						
	微分積分Ⅱ	2		2						
	線形代数Ⅰ	1		1						
	線形代数Ⅱ	1		1						
	解析Ⅰ	2			2					
	解析Ⅱ	2			2					
	線形代数Ⅲ	1			1					
	確率・統計	1			1					
	物理ⅠA	1	1							
	物理ⅠB	1	1							
	物理ⅡA	2		2						
	物理ⅡB	1		1						
	化学Ⅰ	1	1							
	化学Ⅱ	1	1							
	化学Ⅲ	1		1						
	化学Ⅳ	1		1						
	自然科学	2		2						
	保健体育	保健体育Ⅰ	2	2						
		保健体育Ⅱ	2		2					
		保健体育Ⅲ	2			2				
		スポーツⅠ	1				1			
	スポーツⅡ	1					1			
芸術	美術	1	1					2科目中1科目選択可能		
	音楽	1	1							
外国語	英語ⅠA	2	2							
	英語ⅠB	2	2							
	英語ⅡA	2		2						
	英語ⅡB	2		2						
	英語ⅢA	2			2					
	英語ⅢB	2			2					
	英語ⅣA	1				1*				
	英語ⅣB	1				1*				
	英語論理・表現入門ⅠA	1	1							
	英語論理・表現入門ⅠB	1	1							
	英語論理・表現基礎	1		1						
	ドイツ語ⅠA	1				1*				
	ドイツ語ⅠB	1				1*				
	英語ⅤA	1					1*			
	英語ⅤB	1					1*			
	ドイツ語ⅡA	1					1*			
ドイツ語ⅡB	1					1*				
留学生・補充科目	日本語・日本事情	4			2	2		留学生に対して開講する		
	日本語	1			1					
	留学生数学	2			2					
	留学生物理	1			1					
小計		82	24	25	17	7	9	留学生補充科目の単位数は含まない		
B 群	人文・社会科学・体育・外国語等	英語論理・表現	1				1*	5科目中2科目選択可能 ・前期開講：哲学、社会概説Ⅰ、文学概論、グローバルカルチャー ・後期開講：哲学、社会概説Ⅱ、文学概論、グローバルカルチャー		
		哲学	2				2**			
		社会概説Ⅰ	2				2**			
		社会概説Ⅱ	2				2**			
		文学概論	2				2**			
		グローバルカルチャー	2				2**			
		スポーツⅢ	1					1		
		法学Ⅰ	2					2**		
		法学Ⅱ	2					2**		
		社会概説Ⅲ	2					2**		
		社会概説Ⅳ	2					2**		
		比較文化論A	2					2**		
		比較文化論B	2					2**		
		特別学修A							単位数は別途定める。	
	留学生・補充科目	日本語	2			1	1	留学生に対して開講する		
	小計		24	0	0	0	11	13	留学生補充科目の単位数は含まない	
合計	開講単位数		106	24	25	17	18	22	留学生補充科目の単位数は含まない	
	履修可能単位数		89	23	25	17	12	12	留学生補充科目の単位数は含まない	

別表第2

教 育 課 程 表

1-2-1 令和8年度 教育課程 (令和8年度以降入学生適用)

* : 講義Ⅰ

** : 講義Ⅱ

創造デザイン工学科 コンピュータサイエンスコース

	授業科目	単位数	学年別配当単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	物理学基礎Ⅰ	1			1			
	物理学基礎Ⅱ	1				1		
	物理学基礎Ⅲ	1				1		
	情報学概論	1		1				
	情報学基礎	2		2 **				
	人工知能特論	2				2 **		
	計測工学	1		1				
	論理回路Ⅰ	1			1			
	論理回路Ⅱ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造	2			2 **			
	オートマトンと形式言語	1				1 *		
	情報数学	1				1 *		
	線形モデル	1			1			
	情報理論Ⅰ	1				1 *		
	情報理論Ⅱ	1				1 *		
	情報技術基礎Ⅰ	1	1					
	情報技術基礎Ⅱ	1	1					
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	プログラミング言語Ⅰ	2			2 **			
	プログラミング言語Ⅱ	2			2 **			
	ソフトウェア工学	2				2 **		
	電子計算機ⅠA	1			1			
	電子計算機ⅠB	1				1 *		
	電子計算機ⅡA	1				1 *		
	電子計算機ⅡB	1					1 *	
	オペレーティングシステム	2				2 **		
	サイバーセキュリティⅠ	1					1	
	サイバーセキュリティⅡ	1					1	
	計算機科学特論Ⅰ	1					1 *	
	計算機科学特論Ⅱ	1					1 *	
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電子回路	1				1		
	通信工学Ⅰ	1				1 *		
	通信工学Ⅱ	1				1 *		
	情報ネットワーク	1				1 *		
	情報通信	1					2 **	
	システム工学特論Ⅰ	1					1 *	
	システム工学特論Ⅱ	1					1 *	
	数値計算・解析	2				2 **		
	多変量解析	2				2 **		
	信号・画像処理	2					2 **	
	情報メディア特論	2					2 **	
	AI・データサイエンス基礎	2				2 **		
	AI・データサイエンス応用	1				1		
	創造デザイン工学Ⅰ	3	3					
	創造デザイン工学Ⅱ	2		2				
	創造デザイン工学Ⅲ	1			1			
	創造デザイン工学Ⅳ	1				1		
	工学基礎実習	2	2					
	工学実習Ⅰ	2		2				
	工学実習Ⅱ	2		2				
	工学実習Ⅲ	2			2			
	応用実習	2			2			
	研究リテラシー	2				2		
	卒業研究	9					9	
	小計	88	7	12	18	30	22	
選択科目	時系列分析	1					1 *	
	強化学習	1					1 *	
	ビッグデータ	1					1 *	
	ファイナンス工学	1					1 *	
	工場実習A	1				1		
	工場実習B	2				2		
	特別学修B							2科目中1科目選択
	小計	7	0	0	0	3	4	単位数は別途定める
合計	開講単位数	専門科目	96	7	12	18	33	26
		一般科目	80	24	20	18	10	8
		合計	176	31	32	36	43	34
	履修可能単位数	専門科目	95	7	12	18	32	26
		一般科目	79	23	20	18	10	8
	合計		174	30	32	36	42	34

卒業単位数 167 以上
一般科目 75 以上
専門科目 82 以上

別表第2

教 育 課 程 表

1-3-1 令和8年度 教育課程（令和8年度以降入学生適用）
創造デザイン工学科 データサイエンスコース

* : 講義Ⅰ
** : 講義Ⅱ

授 業 科 目			単位数	学年別配当単位数					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	物理学基礎Ⅰ		1			1			
	物理学基礎Ⅱ		1				1		
	物理学基礎Ⅲ		1				1		
	情報学概論		1	1					
	情報学基礎		2	2 **					
	人工知能特論		2			2 **			
	情報メディア特論		2				2 **		
	計測工学		1	1					
	論理回路Ⅰ		1		1				
	論理回路Ⅱ		1		1				
	アルゴリズムとデータ構造		2		2 **				
	数値計算・解析		2			2 **			
	多変量解析		2			2 **			
	信号・画像処理		2				2 **		
	時系列分析		1				1 *		
	情報理論Ⅰ		1			1 *			
	情報理論Ⅱ		1			1 *			
	情報技術基礎Ⅰ		1	1					
	情報技術基礎Ⅱ		1	1					
	プログラミングⅠ		1		1				
	プログラミングⅡ		1		1				
	プログラミング言語Ⅰ		2			2 **			
	プログラミング言語Ⅱ		2			2 **			
	ソフトウェア工学		2				2 **		
	情報数学Ⅰ		1			1			
	情報数学Ⅱ		1				1 *		
	情報数学Ⅲ		1				1 *		
	線形モデル		1			1			
	線形計画		1				1 *		
	最適化		1				1 *		
	パターン認識		2				2		
	深層学習		2				2		
	機械学習		1					1 *	
	強化学習		1					1 *	
	オートマトンと形式言語		1				1 *		
	自然言語処理Ⅰ		1				1 *		
	自然言語処理Ⅱ		1					1 *	
	ビッグデータ		1					1 *	
	AI・データサイエンス概論		1			1			
	AI・データサイエンス基礎		2				2 **		
	AI・データサイエンス応用		1				1		
	経済学基礎Ⅰ		1			1			
	経済学基礎Ⅱ		1				1		
	経済・経営学Ⅰ		2				2 **		
	経済・経営学Ⅱ		2					2 **	
	ファイナンス工学		1					1 *	
	創造デザイン工学Ⅰ		3	3					
創造デザイン工学Ⅱ		2		2					
創造デザイン工学Ⅲ		1			1				
創造デザイン工学Ⅳ		1				1			
工学基礎実習		2	2						
工学実習Ⅰ		2		2					
工学実習Ⅱ		2		2					
工学実習Ⅲ		2			2				
応用実習		2			2				
研究リテラシー		2				2			
卒業研究		9					9		
小 計		89	7	12	18	31	21		
選択科目	計算機科学特論Ⅰ	1					1 *		
	計算機科学特論Ⅱ	1					1 *		
	システム工学特論Ⅰ	1					1 *		
	システム工学特論Ⅱ	1					1 *		
	工場実習A	1				1			
	工場実習B	2				2			
	特別学修B								
小 計		7	0	0	0	3	4		
合計	開 講 単 位 数	専 門 科 目	96	7	12	18	34	25	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一 般 科 目	80	24	20	18	10	8	
		合 計	176	31	32	36	44	33	
	履修可能単位数	専 門 科 目	95	7	12	18	33	25	
		一 般 科 目	79	23	20	18	10	8	
		合 計	174	30	32	36	43	33	

教育課程表

* : 講義Ⅰ
* * : 講義Ⅱ

創造デザイン工学科 知能ロボティクスコース			学年別配当単位数					備考	
授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	工学実習Ⅰ	4		4					
	工学実習Ⅱ	4			4				
	工学実験	4				4			
	応用数学Ⅰ	1				1*			
	応用数学Ⅱ	1				1*			
	物理学基礎Ⅰ	1			1				
	物理学基礎Ⅱ	1				1			
	物理学基礎Ⅲ	1				1			
	製図Ⅰ	1		1					
	製図Ⅱ	1		1					
	製図Ⅲ	1			1				
	機構学	2				2**			
	機械設計法Ⅰ	1				1*			
	機械設計法Ⅱ	2				2**			
	工業力学	1		1					
	機械力学	2				2**			
	機械振動学	2					2**		
	材料力学Ⅰ	1			1				
	材料力学Ⅱ	1			1				
	材料力学Ⅲ	2				2**			
	材料学Ⅰ	1			1				
	材料学Ⅱ	1				1*			
	機械工作法Ⅰ	1			1				
	機械工作法Ⅱ	1			1				
	熱力学	2				2**			
	流体工学	2				2**			
	流体力学	2				2**			
	情報技術基礎Ⅰ	1	1						
	情報技術基礎Ⅱ	1	1						
	知能工学基礎	2				2**			
	メディカルシステム	2					2**		
	情報処理Ⅰ	1		1					
	シミュレーション工学	2				2**			
	電気電子基礎Ⅰ	1		1					
	CAD/CAE解析	2				2			
	電気電子基礎Ⅱ	1			1				
	ロボット工学	2					2**		
	バイオメカニクス	2					2**		
	メカトロニクス	2				2**			
	制御工学Ⅰ	2				2**			
制御工学Ⅱ	2					2**			
制御工学Ⅲ	2					2**			
創造デザイン工学Ⅰ	3	3							
創造デザイン工学Ⅱ	2		2						
創造デザイン工学Ⅲ	1			1					
創造デザイン工学Ⅳ	1				1				
工学基礎実習	2	2							
研究リテラシー	2				2				
卒業研究	9					9			
小計	89	7	11	13	37	21			
選択科目	トライボロジー	2				2**	2科目中1科目選択 単位数は別途定める		
	伝熱工学	2				2**			
	情報処理Ⅱ	1		1					
	生産システム工学	2				2**			
	工場実習A	1			1				
	工場実習B	2			2				
	特別学修B								
小計	10	0	1	0	3	6			
合計	開講単位数	専門科目	99	7	12	13	40	27	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一般科目	80	24	20	18	10	8	
		合計	179	31	32	31	50	35	
	履修可能単位数	専門科目	98	7	12	13	39	27	
		一般科目	79	23	20	18	10	8	
合計		177	30	32	31	49	35		

別表第2

教 育 課 程 表

1-5-1 令和8年度 教育課程 (令和8年度以降入学生適用)
創造デザイン工学科 先進エレクトロニクスコース

* : 講義Ⅰ
** : 講義Ⅱ

授業科目			単位数	学年別配当単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気数学Ⅰ		1		1				
	電気数学Ⅱ		1		1				
	応用数学		2				2 **		
	物理学基礎Ⅰ		1			1			
	物理学基礎Ⅱ		1				1		
	物理学基礎Ⅲ		1				1		
	電気回路Ⅰ		1		1				
	電気回路Ⅱ		1		1				
	電気回路Ⅲ		1			1			
	電気回路Ⅳ		1			1			
	電気回路Ⅴ		1				1 *		
	電気回路Ⅵ		1				1 *		
	電気基礎		1		1				
	電磁気学Ⅰ		1			1			
	電磁気学Ⅱ		1			1			
	電磁気学Ⅲ		1				1 *		
	電磁気学Ⅳ		1				1 *		
	電気電子計測		1			1			
	データ処理		1			1			
	線形システム		2					2 **	
	制御理論		2					2 **	
	論理回路		1		1				
	デジタル電子回路		1		1				
	アナログ電子回路Ⅰ		2			2**			
	アナログ電子回路Ⅱ		2				2 **		
	デジタル信号処理		2						2 **
	パワーエレクトロニクス		2						2 **
	電気通信Ⅰ		2						2 **
	情報技術基礎Ⅰ		1	1					
	情報技術基礎Ⅱ		1	1					
	情報処理Ⅰ		1		1				
	情報処理Ⅱ		1		1				
	情報処理Ⅲ		1			1			
	情報処理Ⅳ		1			1			
	数値計算		2					2 **	
	知能情報処理		1						1 *
	電子計算機		2						2 **
	電子物性		1					1 *	
	半導体デバイスⅠ		1					1 *	
	半導体デバイスⅡ		1						1 *
	電気機器Ⅰ		2					2 **	
	電気機器Ⅱ		2					2 **	
	発電・変電		2					2 **	
	電力輸送		2					2 **	
	プラズマエレクトロニクス		2						2 **
機械設計概論		1		1					
創造デザイン工学Ⅰ		3	3						
創造デザイン工学Ⅱ		2		2					
創造デザイン工学Ⅲ		1			1				
創造デザイン工学Ⅳ		1				1			
工学基礎実習		2	2						
電気電子基盤実験Ⅰ		2			2				
電気電子基盤実験Ⅱ		2			2				
電気電子基盤実験Ⅲ		2				2			
ものづくり創造実習		2				2			
研究リテラシー		2				2			
卒業研究		9						9	
小計		89	7	12	14	33		21	
選択科目	電気通信Ⅱ	2						2 **	
	半導体デバイスⅢ	2						2 **	
	エネルギー変換	2						2 **	
	工場実習A	1				1			
	工場実習B	2				2			
	特別学修B								
小計		9	0	0	0	3		6	
合計	開講単位数	専門科目	96	7	12	14	36	27	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一般科目	80	24	20	18	10	8	
		合計	176	31	32	32	46	35	
	履修可能単位数	専門科目	95	7	12	14	35	27	
		一般科目	79	23	20	18	10	8	
		合計	174	30	32	32	45	35	

別表第2

教 育 課 程 表

1-6-1 令和8年度 教育課程（令和8年度以降入学生適用）
創造デザイン工学科 都市環境デザインコース* :講義Ⅰ
** :講義Ⅱ

授業科目		単位数	学年別配当単位数					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	測量学Ⅰ	2		2					
	コンクリート工学	2		2					
	測量学Ⅱ	2			2				
	応用力学	2			2				
	土質力学	2			2				
	設計演習Ⅰ	2			2				
	建築計画Ⅰ	1			1				
	設計演習Ⅱ	2			2				
	建築計画Ⅱ	1			1				
	水理学Ⅰ	1			1				
	環境工学Ⅰ	2				2＊			
	都市計画	2				2＊			
	構造力学Ⅰ	2				2＊			
	鉄筋コンクリート工学	2				2＊			
	工学演習Ⅰ	1				1			
	工学演習Ⅱ	1				1			
	鋼構造工学	2				2**			
	地盤工学	1				1＊			
	水理学Ⅱ	1				1＊			
	水理学Ⅲ	2				2**			
	交通計画学	1				1＊			
	建築構造	1				1＊			
	建築設備	1				1＊			
	構造力学Ⅱ	1					1＊		
	土木施工	1					1＊		
	建築施工	1					1＊		
	外書輪講	1					1＊		
	建設数学	1					1＊		
	物理学基礎Ⅰ	1			1				
	物理学基礎Ⅱ	1				1			
	物理学基礎Ⅲ	1				1			
	情報技術基礎Ⅰ	1	1						
	情報技術基礎Ⅱ	1	1						
	情報処理	1		1					
	創造デザイン工学Ⅰ	3	3						
	創造デザイン工学Ⅱ	2		2					
	創造デザイン工学Ⅲ	1			1				
	工学基礎実習	2	2						
	測量学実習Ⅰ	2		2					
	測量学実習Ⅱ	2			2				
	基礎製図	2		2					
	CAD製図	2		2					
	建設工学実験Ⅰ	2				2			
	建設工学実験Ⅱ	2				2			
	構造物設計	1				1			
	研究リテラシー	2				2			
	卒業研究	9					9		
	小計	79	7	13	17	28	14		
選択科目	建築環境工学Ⅰ	1					1＊		
	建築環境工学Ⅱ	1					1＊		
	環境工学Ⅱ	2					2**		
	景観設計	2					2＊		
	建築史	2					2**		
	構造力学Ⅲ	2					2**		
	応用測量学	1					1**		
	耐震工学	1					1**		
	建築法規	2					2**		
	橋梁設計	2					2＊		
	工場実習A	1				1			
	工場実習B	2				2			
	特別学修B							2科目中1科目選択	
	小計	19	0	0	0	3	16	単位数は別途定める	
合計	開講単位数	専門科目	98	7	13	17	31	30	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一般科目	80	24	20	18	10	8	
		合計	178	31	33	35	41	38	
	履修可能単位数	専門科目	97	7	13	17	30	30	
		一般科目	79	23	20	18	10	8	
合計		176	30	33	35	40	38		

卒業単位数 167 以上
一般科目 75 以上
専門科目 82 以上

別表第2

教 育 課 程 表

2-2-1 令和8年度 教育課程 (令和4年度～令和7年度入学生適用) 機械工学科

* : 講義Ⅰ
** : 講義Ⅱ

授業科目			単位数	学年別配当単位数					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	工作実習Ⅰ	4	4						
	工作実習Ⅱ	4		4					
	工作実習Ⅲ	4			4				
	工学実験	2				2			
	卒業研究	12					12		
	小計	26	4	4	4	2	12		
A群	応用数学Ⅰ	2				2 **			
	物理学基礎Ⅰ	1			1				
	物理学基礎Ⅱ	1			1				
	物理学基礎Ⅲ	1				1 *			
	物理学実験	1				1			
	製図Ⅰ	2		2					
	製図Ⅱ	2			2				
	応用設計	2				2 *			
	機械設計法Ⅰ	1			1				
	機械設計法Ⅱ	2				2 **			
	工業力学	1		1					
	機械力学	1				1 *			
	機械振動学	2					2 **		
	材料力学Ⅰ	2			2				
	材料力学Ⅱ	2				2 *			
	機械工作法Ⅰ	1		1					
	機械工作法Ⅱ	1			1				
	機械工作法Ⅲ	1				1 *			
	熱力学Ⅰ	1				1 *			
	熱力学Ⅱ	2				2 **			
	流体力学Ⅰ	1				1 *			
	流体力学Ⅱ	2				2 **			
	材料学Ⅰ	1			1				
	材料学Ⅱ	1			1				
	コンピュータリテラシ	1	1						
	AI基礎	1		1					
	情報処理Ⅰ	1			1				
	情報処理Ⅱ	1			1				
	回路情報工学Ⅰ	1			1				
	回路情報工学Ⅱ	1			1				
	メカトロニクス	1					1 *		
	制御工学Ⅰ	1					1 *		
	制御工学Ⅱ	1							1 *
	機械工学演習	2	2						
	創作活動	1	1						
	工学基礎実習	2	2						
	プロダクトデザイン	1		1					
	デジタルデザイン	2			2				
	創造デザイン	2					2 *		
	卒業設計	2							2 *
	小計	55	6	6	16	22	5		
B群	応用数学Ⅱ	2				2 **		2科目中1科目選択 単位数は別途定める	
	流体力学	2					2 **		
	エネルギー機械	2					2 **		
	伝熱工学	2					2 **		
	メカトロニクス演習	1				1 *			
	工場実習A	1				1			
	工場実習B	2				2			
	特別学修B								
	小計	12	0	0	0	6	6		
合計	開講単位数	専門科目	93	10	10	20	30	23	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一般科目	106	24	25	17	18	22	
		合計	199	34	35	37	48	45	
	履修可能単位数	専門科目	92	10	10	20	29	23	
		一般科目	89	23	25	17	12	12	
		合計	181	33	35	37	41	35	

別表第2

教 育 課 程 表

2-3-1 令和8年度 教育課程（令和4年度～令和7年度入学生適用） 電気電子工学科

* : 講義Ⅰ

** : 講義Ⅱ

授 業 科 目			単位数	学年別配当単位数					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	電気電子工学実験Ⅰ		2		2				
	電気電子工学実験Ⅱ		2			2			
	電気電子工学実験Ⅲ		2				2		
	電気電子工学実験Ⅳ		2				2		
	電気電子工学実験Ⅴ		2				2		
	卒業研究		12					12	
小 計			22	0	2	4	4	12	
A 群	電気数学Ⅰ		1	1					
	電気数学Ⅱ		1		1				
	電気数学Ⅲ		1		1				
	応用数学Ⅰ		1				1 *		
	応用数学Ⅱ		2					2 **	
	物理学基礎Ⅰ		1			1			
	物理学基礎Ⅱ		1			1			
	物理学基礎Ⅲ		1				1 *		
	物理学実験		1				1		
	電気電子基礎		1		1				
	電磁気学Ⅰ		1			1			
	電磁気学Ⅱ		1			1			
	電磁気学Ⅲ		1				1 *		
	電磁気学Ⅳ		1				1 *		
	電気回路Ⅰ		1	1					
	電気回路Ⅱ		1	1					
	電気回路Ⅲ		1		1				
	電気回路Ⅳ		1		1				
	電気回路Ⅴ		1			1			
	電気回路Ⅵ		1				1 *		
	計測工学		1			1			
	データ処理		1			1			
	電子工学		1			1			
	半導体工学Ⅰ		1				1 *		
	半導体工学Ⅱ		1				1 *		
	電子回路Ⅰ		1			1			
	電子回路Ⅱ		1			1			
	デジタル信号処理		2				2 **		
	制御工学Ⅰ		1				1 *		
	制御工学Ⅱ		1				1 *		
	パワーエレクトロニクス		2					2 **	
	論理回路		1			1			
	デジタル回路		2				2 **		
	電子回路設計		1					1	
	電気通信Ⅰ		2				2 **		
	電気通信Ⅱ		2					2 **	
	コンピュータリテラシ		1	1					
	情報処理Ⅰ		1	1					
	情報処理Ⅱ		1		1				
	情報処理Ⅲ		1		1				
	情報処理Ⅳ		1			1			
	情報処理演習		1			1			
	数値解析		1				1 *		
	知能情報処理基礎		1					1 *	
	電子計算機		2					2 **	
	電気機器Ⅰ		1			1			
	電気機器Ⅱ		1			1			
	発変電工学		2				2 **		
	送配電工学		2					2 **	
	高電圧工学		1					1 *	
	電気製図		1	1					
	工学基礎実習		2	2					
	創作活動		1	1					
	電気電子工学概論		1		1				
	創造実習Ⅰ		1				1		
	創造実習Ⅱ		2				2		
	小 計			67	9	8	15	22	
B 群	電気法規・施設管理		1					1 *	法規を含む
	電気電子工学演習Ⅰ		1				1 *		
	電気電子工学演習Ⅱ		1					1 *	
	工場実習A		1				1		2科目中1科目選択
	工場実習B		2				2		
	特別学修B								単位数は別途定める
小 計			6	0	0	0	4	2	
合計	開 講 単 位 数	専 門 科 目	95	9	10	19	30	27	卒業単位数 167 以上 一般科目 75 以上 専門科目 82 以上
		一 般 科 目	106	24	25	17	18	22	
		合 計	201	33	35	36	48	49	
	履修可能単位数	専 門 科 目	94	9	10	19	29	27	
		一 般 科 目	89	23	25	17	12	12	
		合 計	183	32	35	36	41	39	

別表第2

教 育 課 程 表

2-4-1 令和8年度 教育課程（令和4年度～令和7年度入学生適用） 電子制御工学科

* : 講義Ⅰ

** : 講義Ⅱ

授業科目		単位数	学年別配当単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	工作実習Ⅰ	2	2					
	工作実習Ⅱ	4		4				
	工学実験Ⅰ	4			4			
	工学実験Ⅱ	4				4		
	卒業研究	12					12	
	小計	26	2	4	4	4	12	
A群	工学基礎実習	2	2					
	創作活動	1	1					
	コンピュータリテラシ	1	1					
	未来創作活動	1		1				
	応用数学Ⅰ	1				1*		
	応用数学Ⅱ	1				1*		
	物理学基礎Ⅰ	1			1			
	物理学基礎Ⅱ	1			1			
	物理学基礎Ⅲ	1				1*		
	物理学実験	1				1		
	工業力学	1			1			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	材料力学Ⅱ	1				1*		
	材料力学Ⅲ	1				1*		
	材料学Ⅰ	1				1*		
	材料学Ⅱ	1					1*	
	流体工学	1				1*		
	熱工学	1				1*		
	機械工作法Ⅰ	1	1					
	機械工作法Ⅱ	1		1				
	機械工作法Ⅲ	1			1			
	機械要素設計Ⅰ	1			1			
	機械要素設計Ⅱ	1				1*		
	設計製図Ⅰ	1	1					
	設計製図Ⅱ	1		1				
	三次元CAD	1		1				
	電気回路Ⅰ	1	1					
	電気回路Ⅱ	1		1				
	電気回路Ⅲ	1		1				
	電気回路Ⅳ	1				1*		
	電磁気学Ⅰ	1			1			
	電磁気学Ⅱ	1			1			
	電磁気学Ⅲ	1				1*		
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	制御機器	2						2**
	制御工学Ⅰ	1				1*		
	制御工学Ⅱ	1				1*		
	制御工学Ⅲ	2						2**
	計測工学	1				1*		
	デジタルものづくり概論	1				1*		
	情報処理Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1			1			
	情報処理Ⅲ	1			1			
	情報工学演習	1				1*		
	デジタル回路Ⅰ	2				2**		
	デジタル回路Ⅱ	1					1*	
	コンピュータ技術	2						2**
	情報通信ネットワーク	2						2**
	創造設計Ⅰ	2			2			
	創造設計Ⅱ	1				1*		
	小計	58	7	7	14	20	10	
B群	特別講座	1				1*		
	ロボット工学	1					1*	
	生体医用概論	2						2**
	データ処理とAI	2				2**		
	工場実習A	1				1		2科目中1科目選択
	工場実習B	2				2		単位数は別途定める
	特別学修B							
	小計	9	0	0	0	6	3	
合計	開講単位数	専門科目	93	9	11	18	30	25
		一般科目	106	24	25	17	18	22
		合計	199	33	36	35	48	47
	履修可能単位数	専門科目	92	9	11	18	29	25
		一般科目	89	23	25	17	12	12
	合計		181	32	36	35	41	37

卒業単位数 167 以上
一般科目 75 以上
専門科目 82 以上

別表第2

教 育 課 程 表

2-5-1 令和8年度 教育課程（令和4年度～令和7年度入学生適用） 情報工学科

* : 講義Ⅰ
** : 講義Ⅱ

授業科目		単位数	学年別配当単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	応用実習	2					2	
	卒業研究	18				4	14	
	小計	20	0	0	0	4	16	
A 群	情報数学	1			1			
	物理学基礎Ⅰ	1			1			
	物理学基礎Ⅱ	1			1			
	物理学基礎Ⅲ	1				1*		
	物理学実験	1				1		
	データサイエンス	2				2**		
	数値解析Ⅰ	1				1*		
	情報基礎Ⅰ	1	1					
	情報基礎Ⅱ	1	1					
	創作活動	1	1					
	電気電子工学概論	1		1				
	計測工学	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	情報処理Ⅰ	2	2					
	情報処理Ⅱ	2		2				
	情報処理Ⅲ	2			2			
	情報理論Ⅰ	1				1*		
	情報理論Ⅱ	1				1*		
	データ構造とアルゴリズム	1				1*		
	オートマトンと言語理論	1			1			
	言語処理系	1			1			
	サイバーセキュリティⅠ	1				1*		
	サイバーセキュリティⅡ	1				1*		
	通信工学Ⅰ	1				1*		
	通信工学Ⅱ	1				1*		
	通信工学Ⅲ	2					2**	
	信号処理	2					2**	
	人工知能Ⅰ	1			1			
	人工知能Ⅱ	1				1*		
	システム設計学	2					2**	
	論理回路Ⅰ	1		1				
	論理回路Ⅱ	1		1				
	電子計算機ⅠA	1		1				
	電子計算機ⅠB	1			1			
	電子計算機ⅡA	1			1			
	電子計算機ⅡB	1				1*		
	オペレーティングシステム	2				2**		
	ヒューマンインタフェース	1			1			
	情報ネットワーク	1				1*		
	コンピュータリテラシ	1	1					
	リサーチリテラシ	1				1		
	技術実習Ⅰ	1			1			
	技術実習Ⅱ	1			1			
	工学基礎実習	2	2					
	工学実験	2			2			
	工学実習Ⅰ	2		2				
	工学実習Ⅱ	2		2				
	工学実習Ⅲ	2			2			
	工学実習Ⅳ	2				2		
	工学実習Ⅴ	2				2		
	小計	66	8	10	20	22	6	
B 群	数値解析Ⅱ	1					1*	
	情報工学特論Ⅰ	1					1*	
	システム工学特論Ⅰ	1					1*	
	情報工学特論Ⅱ	1					1*	
	システム工学特論Ⅱ	1					1*	
	電気電子工学特論	2					2**	
	工場実習A	1				1		2科目中1科目選択
	工場実習B	2				2		単位数は別途定める
	特別学修B							
	小計	10	0	0	0	3	7	
合計	開講単位数	専門科目	96	8	10	20	29	29
		一般科目	106	24	25	17	18	22
		合計	202	32	35	37	47	51
	履修可能単位数	専門科目	95	8	10	20	28	29
		一般科目	89	23	25	17	12	12
		合計	184	31	35	37	40	41

卒業単位数 167 以上
一般科目 75 以上
専門科目 82 以上

別表第2

教育課程表

* :講義Ⅰ
** :講義Ⅱ

2-6-1 令和8年度 教育課程（令和4年度～令和7年度入学生適用）都市環境デザイン工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修	測量学実習Ⅰ	2	2					
	測量学実習Ⅱ	2		2				
	基礎製図Ⅰ	2	2					
	基礎製図Ⅱ	2		2				
	土質工学実験	2			2			
	材料学実験	2			2			
	建設工学実験	2				2		
	構造物設計	1				1		
	工学セミナー	1				1		
	卒業研究	9					9	
	小 計	25	4	4	4	4	9	
A群	創作活動	1	1					
	コンピュータリテラシ	1	1					
	工学基礎実習	2	2					
	測量学Ⅰ	2	2					
	測量学Ⅱ	2		2				
	応用力学	2		2				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1		1				
	物理学基礎Ⅰ	1			1			
	物理学基礎Ⅱ	1			1			
	物理学基礎Ⅲ	1				1 *		
	物理学実験	1				1		
	コンクリート工学	2		2				
	鉄筋コンクリート工学	2			2			
	構造力学Ⅰ	2			2			
	水理学Ⅰ	2			2			
	土質力学	2			2			
	情報処理Ⅲ	1			1			
	工学演習	2				2		
	環境工学Ⅰ	2				2 *		
	都市計画	2				2 *		
	施工学	2				2 *		
	設計演習	3			3			
	建築計画	2			2			
	構造力学Ⅱ	2				2 *		
	鋼構造工学	2				2 **		
	地盤工学	1				1 *		
	応用測量学	1					1 **	
	環境工学Ⅱ	2					2 **	
	交通計画学	1					1 *	
	外書輪講	1					1 *	
	小 計	50	6	8	16	15	5	
B群	応用数学	1					1 *	
	水理学Ⅱ	2				2 **		
	橋梁設計	2					2 *	
	景観設計	2					2 *	
	耐震工学	1					1 **	
	建築構造	1				1 *		
	建築設備	1				1 *		
	建築法規	1					1 *	
	建築史	2					2 **	
	建築環境工学	2				2 *		
	工場実習A	1				1		2科目中1科目選択
	工場実習B	2				2		単位数は別途定める
	特別学修B							
	小 計	18	0	0	0	9	9	
合計	開講単位数	専門科目	93	10	12	20	28	23
		一般科目	106	24	25	17	18	22
		合計	199	34	37	37	46	45
	履修可能単位数	専門科目	92	10	12	20	27	23
		一般科目	89	23	25	17	12	12
		合計	181	33	37	37	39	35

卒業単位数 167以上
一般科目 75以上
専門科目 82以上

Ⅱ 教 育 課 程 表

別表第 3

1-1 機械・電子システム工学専攻			令和 7～8 年度入学生用		
区分	必／選	授 業 科 目	単位数	学年別開講単位数	
				第 1 学年	第 2 学年
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2		2
		総 合 英 語	2	2	
	選択科目	履 修 単 位 数	4	2	2
		科 学 技 術 英 語	2	2	
		論理的英語コミュニケーション	2		2
		現 代 企 業 法 論	2	2	
		国 際 関 係 論	2	2	
		大 学 等 履 修 科 目（一般）			
		開 講 単 位 数	8	6	2
専門共通科目	必修科目	履 修 単 位 数	4以上		
		環 境 物 理 化 学	2	2	
		環 境 科 学	2	2	
		環境創造工学プロジェクト	2	2	
		環 境 電 磁 気 学	2		2
		環 境 人 間 工 学	2		2
	選択科目	環 境 機 械 工 学	2		2
		履 修 単 位 数	12	6	6
		微 分 方 程 式	2	2	
		ベ ク ト ル 解 析	2	2	
		複 素 関 数 論	2	2	
		線 形 代 数 学	2	2	
		解 析 力 学	2		2
		量 子 力 学	2		2
		地 球 物 理 学 概 論	2	2	
		生 産 加 工 学	2		2
		安 全 衛 生 工 学	2		2
		ヒューマンインターフェース	2		2
		技 術 者 の 社 会 的 責 任	2	2	
		環境創造工学特別講義	1	1	
開 講 単 位 数	23	13	10		
履 修 単 位 数	4以上				
専門科目	必修科目	特 別 研 究 Ⅰ	4	4	
		特 別 研 究 Ⅱ	10		10
		特 別 セ ミ ナ ー	2	2	
		履 修 単 位 数	16	6	10
	選択科目	伝 熱 工 学 特 論	2		2
		流 体 工 学 特 論	2	2	
		流 体 力 学 特 論	2		2
		材 料 物 性 工 学	2		2
		弾 性 力 学	2	2	
		メカトロニクス特論	2		2
		制 御 工 学 特 論	2	2	
		計 測 制 御 工 学	2	2	
		知 能 情 報 処 理 論	2	2	
		リハビリテーション工学	2		2
		電 気 回 路 特 論	2	2	
		機械・電子システム工学特別演習Ⅰ	1	1	
		機械・電子システム工学特別演習Ⅱ	1	1	
		機械・電子システム工学特別演習Ⅲ	1	1	
		特 別 実 習 A（4 週間）	4		
		特 別 実 習 B（2 週間）	2		
		機械・電子システム工学特別講義Ⅰ	2	2	
		機械・電子システム工学特別講義Ⅱ	2		2
		大 学 等 履 修 科 目（専門）			
		開 講 単 位 数	35	17	12
履 修 単 位 数	16以上				
開講単位数合計			98	50	42
履修単位数合計			62以上		

単位数は別途定める

休業中実施

必要に応じて開講

単位数は別途定める

別表第3

1-2		電気情報システム工学専攻		令和7～8年度入学生用		
区分	必／選	授 業 科 目	単位数	学年別開講単位数		
				第1学年	第2学年	
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2		2	
		総 合 英 語	2	2		
		履 修 単 位 数	4	2	2	
	選択科目	科 学 技 術 英 語	2	2		
		論理的英語コミュニケーション	2		2	
		現 代 企 業 法 論	2	2		
		国 際 関 係 論	2	2		
大 学 等 履 修 科 目 (一般)					単位数は別途定める	
	開 講 単 位 数	8	6	2		
	履 修 単 位 数	4以上				
専門共通科目	必修科目	環 境 物 理 化 学	2	2		
		環 境 科 学	2	2		
		環境創造工学プロジェクト	2	2		
		環 境 電 磁 気 学	2		2	
		環 境 人 間 工 学	2		2	
		環 境 機 械 工 学	2		2	
		履 修 単 位 数	12	6	6	
	選択科目	微 分 方 程 式	2	2		
		ベ ク ト ル 解 析	2	2		
		複 素 関 数 論	2	2		
		線 形 代 数 学	2	2		
		解 析 力 学	2		2	
		量 子 力 学	2		2	
		地 球 物 理 学 概 論	2	2		
		生 産 加 工 学	2		2	
		安 全 衛 生 工 学	2		2	
		ヒューマンインターフェース	2		2	
		技 術 者 の 社 会 的 責 任	2	2		
		環境創造工学特別講義	1	1		
		開 講 単 位 数	23	13	10	
		履 修 単 位 数	4以上			
専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4	4		
		特 別 研 究 II	10		10	
		特 別 セ ミ ナ ー	2	2		
		履 修 単 位 数	16	6	10	
	選択科目	応 用 電 子 物 性	2	2		
		電 力 シ ス テ ム 解 析	2	2		
		電 子 回 路 解 析	2	2		
		マルチメディア工学	2		2	
		ニューラルネットワーク	2	2		
		生 体 情 報 工 学	2	2		
		画 像 処 理 基 礎	2	2		
		ネットワークアーキテクチャ	2		2	
		電気電子工学特別演習	1	1		
		情 報 工 学 特 別 演 習	1	1		
		数 理 計 画	2	2		
		通 信 工 学	2		2	
		特 別 実 習 A (4週間)	4			
		特 別 実 習 B (2週間)	2			
		電気情報システム工学特別講義Ⅰ	2	2		
		電気情報システム工学特別講義Ⅱ	2		2	
		大 学 等 履 修 科 目 (専門)				単位数は別途定める
	開 講 単 位 数	32	18	8		
	履 修 単 位 数	16以上				
開講単位数合計			95	51	38	
履修単位数合計			62以上			

単位数は別途定める

休業中実施

必要に応じて開講

単位数は別途定める

別表第3

1-3 建設工学専攻

令和7～8年度入学生用

区分	必／選	授 業 科 目	単位数	学年別開講単位数	
				第 1 学年	第 2 学年
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2		2
		総 合 英 語	2	2	
	選択科目	履 修 単 位 数	4	2	2
		科 学 技 術 英 語	2	2	
		論理的英語コミュニケーション	2		2
		現 代 企 業 法 論	2	2	
		国 際 関 係 論	2	2	
大 学 等 履 修 科 目（一般）				単位数は別途定める	
開 講 単 位 数	8	6	2		
履 修 単 位 数	4以上				
専門共通科目	必修科目	環 境 物 理 化 学	2	2	
		環 境 科 学	2	2	
		環境創造工学プロジェクト	2	2	
		環 境 電 磁 気 学	2		2
		環 境 人 間 工 学	2		2
		環 境 機 械 工 学	2		2
	選択科目	履 修 単 位 数	12	6	6
		微 分 方 程 式	2	2	
		ベ ク ト ル 解 析	2	2	
		複 素 関 数 論	2	2	
		線 形 代 数 学	2	2	
		解 析 力 学	2		2
		量 子 力 学	2		2
		地 球 物 理 学 概 論	2	2	
		生 産 加 工 学	2		2
		安 全 衛 生 工 学	2		2
		ヒューマンインターフェース	2		2
		技 術 者 の 社 会 的 責 任	2	2	
		環境創造工学特別講義	1	1	
		開 講 単 位 数	23	13	10
		履 修 単 位 数	4以上		
専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4	4	
		特 別 研 究 II	10		10
		特 別 セ ミ ナ ー	2	2	
		履 修 単 位 数	16	6	10
	選択科目	マ ト リ ッ ク ス 構 造 解 析	2	2	
		連 続 体 力 学	2	2	
		廃 棄 物 工 学	2	2	
		環 境 流 体 輸 送 特 論	2	2	
		環 境 生 物 学	2	2	
		地 盤 防 災 工 学 特 論	2	2	
		建 設 材 料 学	2	2	
		デ ザ イ ン 論	2	2	
		都 市 計 画 特 論	2		2
		都 市 計 画 演 習	1		1
		建 設 工 学 特 別 演 習 I	1	1	
		建 設 工 学 特 別 演 習 II	1		1
		特 別 実 習 A（4 週 間）	4		
		特 別 実 習 B（2 週 間）	2		
		建 設 工 学 特 別 講 義 I	2	2	
		建 設 工 学 特 別 講 義 II	2		2
大 学 等 履 修 科 目（専門）				単位数は別途定める	
開 講 単 位 数	31	19	6		
履 修 単 位 数	16以上				
開講単位数合計			94	52	36
履修単位数合計			62以上		

単位数は別途定める

休業中実施

必要に応じて開講

単位数は別途定める

別表第 4

2-1 機械・電子システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム

令和 7～8 年度入学生用

区分	必／選	授 業 科 目	単位数	標準学年別開講単位数	
				第 1 学年	第 2 学年
一般科目	必修科目	総 合 英 語	2	2	
		国 際 関 係 論	2	2	
		履 修 単 位 数	4	4	0
	選択科目	技 術 倫 理	2		2
		科 学 技 術 英 語	2	2	
		論理的英語コミュニケーション	2		2
		現 代 企 業 法 論	2	2	
		大 学 等 履 修 科 目 (一般)			
専門科目	必修科目	開 講 単 位 数	8	4	4
		特 別 研 究 I	4	4	
		特 別 研 究 II	10		10
		特 別 実 習 C (3 週間)	3	3	
		知 能 情 報 処 理 論	2	2	
		ヒューマンインターフェース	2		2
	選択科目	履 修 単 位 数	21	9	12
		環 境 科 学	2	2	
		環境創造工学プロジェクト	2	2	
		微 分 方 程 式	2	2	
		ベ ク ト ル 解 析	2	2	
		線 形 代 数 学	2	2	
		複 素 関 数 論	2	2	
		地 球 物 理 学 概 論	2	2	
		技術者の社会的責任	2	2	
		環境創造工学特別講義	1	1	
		機械・電子システム工学特別講義 I	2	2	
		特 別 セ ミ ナ ー	2	2	
		流 体 工 学 特 論	2	2	
		弾 性 力 学	2	2	
		制 御 工 学 特 論	2	2	
		計 測 制 御 工 学	2	2	
		電 気 回 路 特 論	2	2	
		機械・電子システム工学特別演習 I	1	1	
		機械・電子システム工学特別演習 II	1	1	
		機械・電子システム工学特別演習 III	1	1	
		環 境 物 理 化 学	2	2	
		環 境 電 磁 気 学	2		2
		環 境 人 間 工 学	2		2
		環 境 機 械 工 学	2		2
		解 析 力 学	2		2
		量 子 力 学	2		2
		生 産 加 工 学	2		2
		安 全 衛 生 工 学	2		2
		伝 熱 工 学 特 論	2		2
		流 体 力 学 特 論	2		2
		材 料 物 性 工 学	2		2
		メカトロニクス 特 論	2		2
		リハビリテーション工学	2		2
		特 別 実 習 A (4 週間)	4		4
		特 別 実 習 B (2 週間)	2		2
		機械・電子システム工学特別講義 II	2		2
		九州大学での修得科目	13		13
		大 学 等 履 修 科 目 (専門)			
		開 講 単 位 数	81	36	45
		開講単位数合計	114	53	61
		履修単位数合計	62以上		

単位数は別途定める

単位数は別途定める

※在籍学年と異なる学年に開講される授業科目の履修を妨げない。

※九州大学での修得科目については、別表 4. 2-A 九州大学開講科目（九大工学部・九州沖縄 9 高専連携教育プログラム）の中から修得すること。

別表第4

2-2 電気情報システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム

令和7～8年度入学生用

区分	必／選	授 業 科 目	単位数	標準学年別開講単位数		
				第 1 学年	第 2 学年	
一般科目	必修科目	総 合 英 語	2	2		
		国 際 関 係 論	2	2		
	選択科目	履 修 単 位 数	4	4	0	
		技 術 倫 理	2		2	
		科 学 技 術 英 語	2	2		
		論理的英語コミュニケーション	2		2	
		現 代 企 業 法 論	2	2		
	大 学 等 履 修 科 目 (一般)				単位数は別途定める	
	開 講 単 位 数	8	4	4		
専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4	4		
		特 別 研 究 II	10		10	
		特 別 実 習 C (3 週間)	3	3		
		ニューラルネットワーク	2	2		
		ヒューマンインターフェース	2		2	
		履 修 単 位 数	21	9	12	
	選択科目	専門広げる科目 (4 単位以上)	環 境 科 学	2	2	
			環境創造工学プロジェクト	2	2	
			微 分 方 程 式	2	2	
			ベ ク ト ル 解 析	2	2	
			線 形 代 数 学	2	2	
			複 素 関 数 論	2	2	
			地 球 物 理 学 概 論	2	2	
			技術者の社会的責任	2	2	
			環境創造工学特別講義	1	1	
		電気情報システム工学特別講義 I	2	2		
		専門進化科目 (4 単位以上)	特 別 セ ミ ナ ー	2	2	
			応 用 電 子 物 性	2	2	
			電 力 シ ス テ ム 解 析	2	2	
			電 子 回 路 解 析	2	2	
			生 体 情 報 工 学	2	2	
			画 像 処 理 基 礎	2	2	
			電気電子工学特別演習	1	1	
			情報工学特別演習	1	1	
			数 理 計 画	2	2	
			環 境 物 理 化 学	2	2	
			環 境 電 磁 気 学	2		2
			環 境 人 間 工 学	2		2
			環 境 機 械 工 学	2		2
			解 析 力 学	2		2
			量 子 力 学	2		2
			生 産 加 工 学	2		2
			安 全 衛 生 工 学	2		2
マルチメディア工学			2		2	
ネットワークアーキテクチャ			2		2	
通 信 工 学			2		2	
特 別 実 習 A (4 週間)	4			4		
特 別 実 習 B (2 週間)	2		2			
電気情報システム工学特別講義 II	2		2			
九州大学での修得科目	13		13			
	大 学 等 履 修 科 目 (専門)				単位数は別途定める	
	開 講 単 位 数	78	37	41		
開講単位数合計			111	54	57	
履修単位数合計			62以上			

※在籍学年と異なる学年に開講される授業科目の履修を妨げない。

※九州大学での修得科目については、別表4.2-A 九州大学開講科目(九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム)の中から修得すること。

別表第 4

2-A 九州大学開講科目（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）

令和7～8年度入学生用

九州大学開講科目			
区分	必／選	授 業 科 目	単位数
専門科目	必修科目	融合工学概論Ⅰ	2
専門科目	必修科目	融合工学概論Ⅱ	2
専門科目	選択科目	先端計測科学	1
専門科目	選択科目	エネルギー・環境学A	1
専門科目	選択科目	エネルギー・環境学B	1
専門科目	選択科目	半導体・デバイス工学A	1
専門科目	選択科目	半導体・デバイス工学B	1
専門科目	選択科目	プラズマ応用工学	1
情報系	選択科目	融合応用情報学A	1
情報系	選択科目	融合応用情報学B	1
情報系	選択科目	融合応用情報学C	1
情報系	選択科目	融合応用情報学D	1
専門科目	選択科目	融合基礎工学特別講義A	1
専門科目	選択科目	融合基礎工学特別講義B	1
産学連携	選択科目	知的財産論	1
産学連携	選択科目	マネジメント論	1
産学連携	選択科目	マーケティング論	1
産学連携	必修科目	インターンシップⅠ（長期）	3
PBL	必修科目	研究プロジェクト	4
グローバル	必修科目	グローバル科目Ⅰ（論文）	1
グローバル	必修科目	グローバル科目Ⅱ（討論）	1
PBL	必修科目	卒業研究	6
開講単位数合計			34
履修単位数合計			30以上

※ 九州大学開講科目（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム）の取扱いは、以下のとおりとする。

（九州大学開講科目）

（本校開講科目）

1.「エネルギー・環境学A(1単位)」と「エネルギー・環境学B(1単位)」の修得について

→

「環境物理化学(2単位)」と読み替える。

2.「インターンシップⅠ（長期）(3単位)」の修得について

→

「特別実習C(3週間)(3単位)」と読み替える。

3.「グローバル科目Ⅰ（論文）(1単位)」と「グローバル科目Ⅱ（討論）(1単位)」の修得について

→

「科学技術英語(2単位)」と読み替える。

4.「研究プロジェクト(4単位)」と「卒業研究(6単位)」の修得について

→

「特別研究Ⅱ(10単位)」と読み替える。

5.上記以外で修得した科目(13単位以上)については、「九州大学での修得科目(13単位)」と読替える。

別表第 4

2-3 建設工学専攻 先進テクノロジー実践連携教育プログラム

令和 7～8 年度入学生用

区分	必／選	授 業 科 目	単位数	標準学年別開講単位数	
				第 1 学年	第 2 学年
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2		2
		総 合 英 語	2	2	
	選択科目	履 修 単 位 数	4	2	2
		科 学 技 術 英 語	2	2	
		論理的英語コミュニケーション	2		2
		現 代 企 業 法 論	2	2	
		国 際 関 係 論	2	2	
専門科目	必修科目	大 学 等 履 修 科 目 (一般)			
		開 講 単 位 数	8	6	2
		特 別 研 究 I	4	4	
		特 別 研 究 II	10		10
		特 別 セ ミ ナ ー	2	2	
		特 別 実 習 A (4 週間)	4	4	
		環 境 物 理 化 学	2	2	
	選択科目	環 境 科 学	2	2	
		環境創造工学プロジェクト	2	2	
		履 修 単 位 数	26	16	10
		環 境 電 磁 気 学	2		2
		環 境 人 間 工 学	2		2
		環 境 機 械 工 学	2		2
		微 分 方 程 式	2	2	
		ベ ク ト ル 解 析	2	2	
		複 素 関 数 論	2	2	
		線 形 代 数 学	2	2	
		解 析 力 学	2		2
		量 子 力 学	2		2
		地 球 物 理 学 概 論	2	2	
		生 産 加 工 学	2		2
		安 全 衛 生 工 学	2		2
		ヒューマンインターフェース	2		2
		技術者の社会的責任	2	2	
		環境創造工学特別講義	1	1	
		マトリックス構造解析	2	2	
		連 続 体 力 学	2	2	
		廃 棄 物 工 学	2	2	
		環 境 流 体 輸 送 特 論	2	2	
		環 境 生 物 学	2	2	
		地 盤 防 災 工 学 特 論	2	2	
		建 設 材 料 学	2	2	
		デ ザ イン 論	2	2	
		都 市 計 画 特 論	2		2
		都 市 計 画 演 習	1		1
		建 設 工 学 特 別 演 習 I	1	1	
		建 設 工 学 特 別 演 習 II	1		1
		特 別 実 習 B (2 週間)	2		
		建 設 工 学 特 別 講 義 I	2	2	
		建 設 工 学 特 別 講 義 II	2		2
		建 設 工 学 特 別 講 義 III	2		2
		建 設 工 学 特 別 講 義 IV	2		2
		大 学 等 履 修 科 目 (専門)			
		開 講 単 位 数	60	32	26
		開講単位数合計	98	56	40
		履修単位数合計	62以上		

※在籍学年と異なる学年に開講される授業科目の履修を妨げない。